

# 一般国道41号

しもはら

下原改良

(道路事業)

## 説明資料

令和2年7月27日

中部地方整備局  
高山国道事務所

# 目 次

## 1. 事業概要

- (1) 事業目的 . . . . . P 1
- (2) 計画概要 . . . . . P 2

## 2. 評価の視点

### (1) 事業効果の発現状況

- ①現道の防災課題箇所の解消 . . . . . P 3
- ②交通安全の確保 . . . . . P 4
- ③救急搬送への支援 . . . . . P 5

## 3. 社会経済情勢の変化

- ①幹線ネットワークの拡充 . . . . . P 6

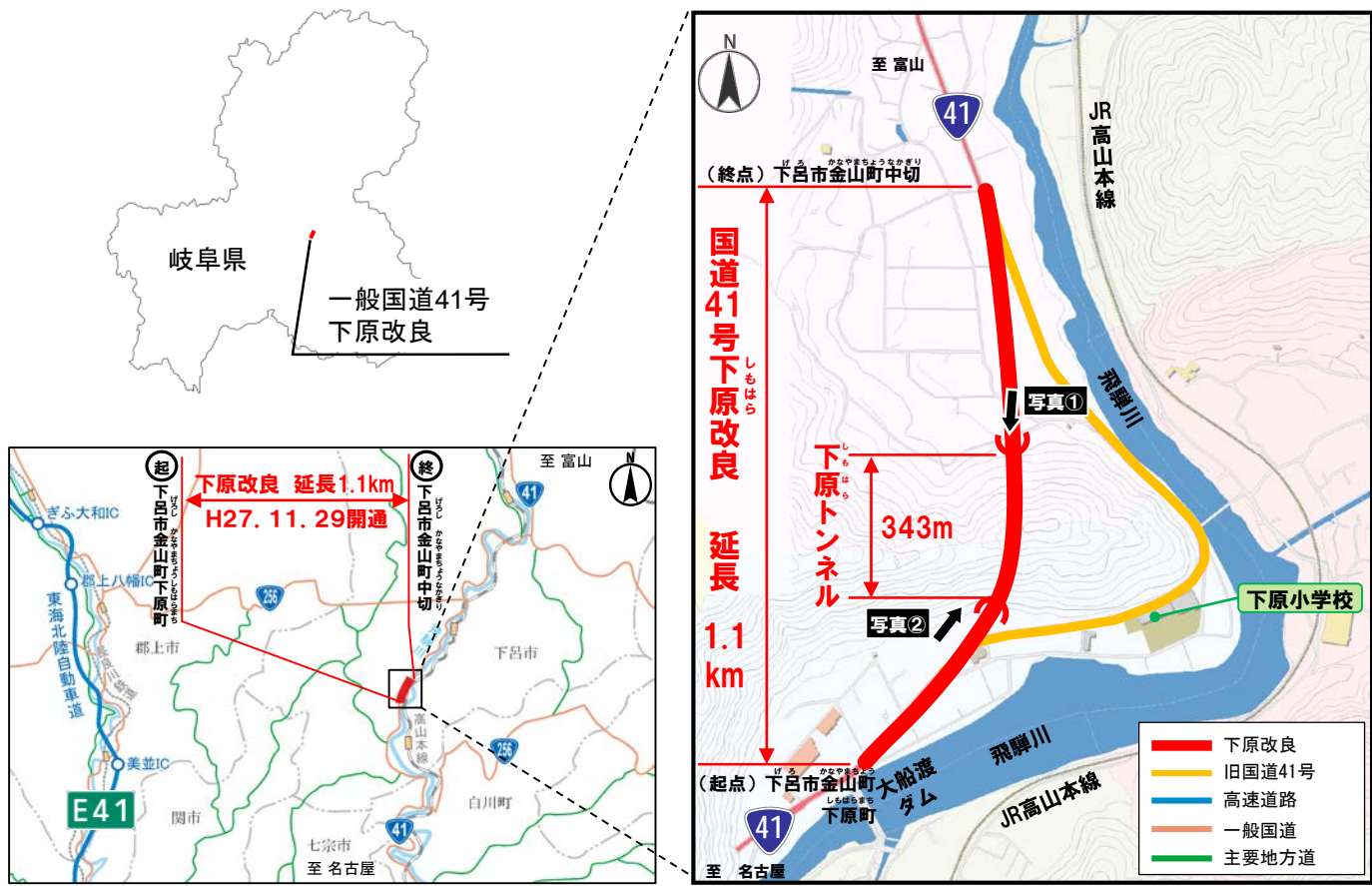
- 4. 対応方針（案） . . . . . P 7

# 1. 事業概要

## (1) 事業目的

- 一般国道41号は、愛知県名古屋市を起点とし、富山県富山市に至る延長250kmの主要幹線道路です。
- 一般国道41号下原改良は、岐阜県下呂市金山町下原町から岐阜県下呂市金山町中切に至る延長1.1kmのバイパスであり、現道の防災課題箇所の回避や交通安全の確保を目的とした事業で、平成27年11月に開通しました。

### 国道41号下原改良の全体位置図



写真① 下原トンネル 終点側抗口付近



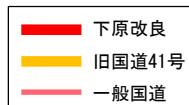
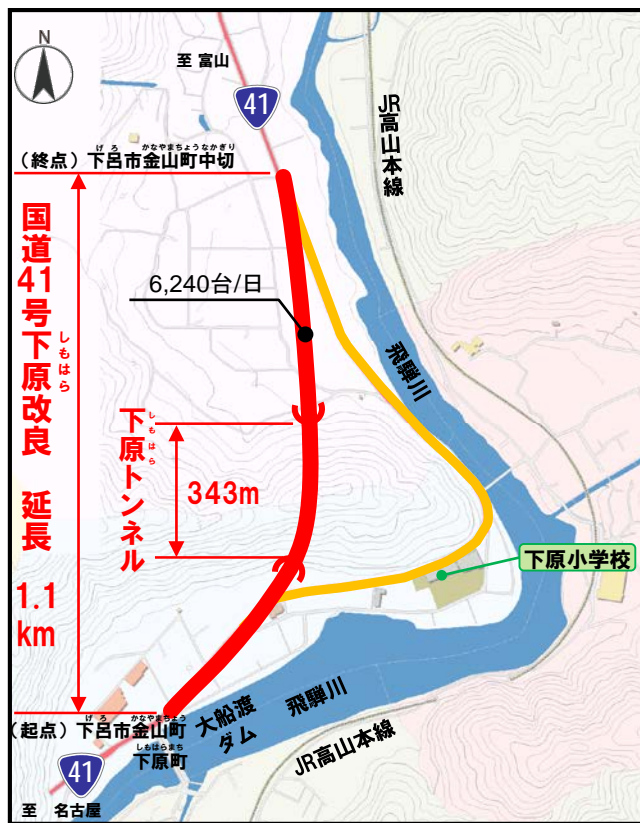
写真② 下原トンネル 起点側抗口付近



# 1. 事業概要

## (2) 計画概要

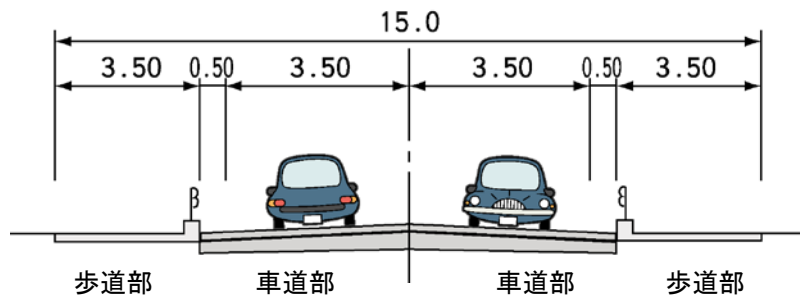
事業名	一般国道41号 下原改良
延長	1.1km
道路規格	第3種第2級
設計速度	60km/h
車線数	2車線
事業化	平成3年度
用地着手年度	平成13年度
工事着手年度	平成19年度
工事完成年度	平成27年度
全体事業費	37億円
計画交通量	9,100台/日



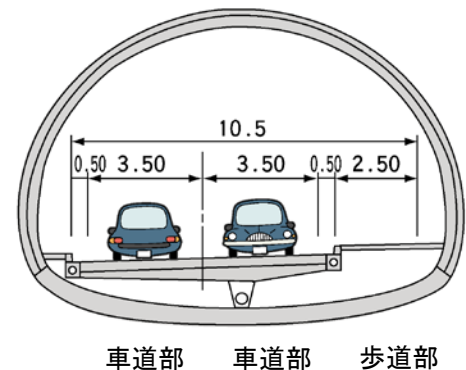
出典：平成27年度全国道路・街路交通情勢調査

## 標準断面図

### 【土工部】



### 【トンネル部】



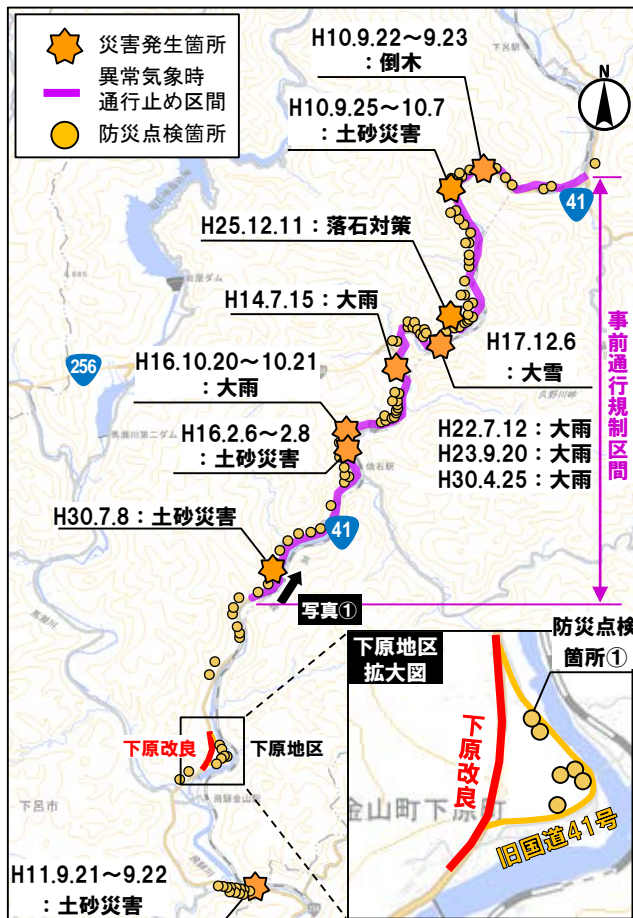
単位:m

## 2. 評価の視点

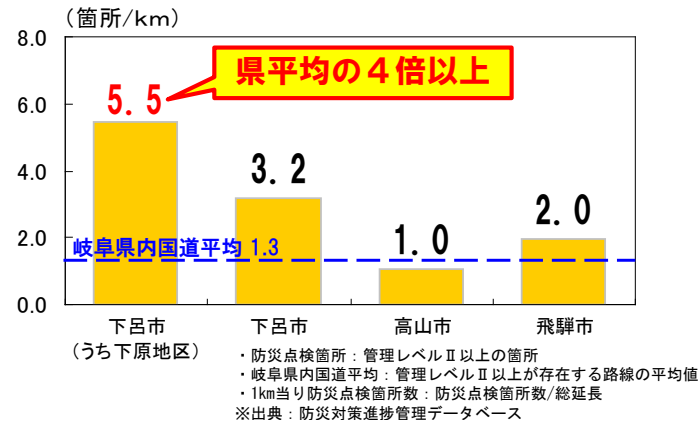
### (1) 事業効果の発現状況

#### ① 現道の防災課題箇所の回避

- 旧国道41号には、濃飛流紋岩が多く分布しており、剥離型の落石や岩盤崩壊が発生しやすく、近年の異常気象や大地震の影響で道路災害が発生する可能性が高く、防災点検箇所が6箇所存在しています。
- 下原改良周辺では、過去数多くの道路災害が発生しています。下原改良の開通により、被災リスクの高い旧道を回避することができ、災害に強い道路網を構築することができました。



#### ● 国道41号の1km当り防災点検箇所数 (H25)



#### ● 下原地区周辺災害及び事前通行規制による通行止状況 (H10～R1)

被災年月日	通行止め時間	被災状況
H10.9.22～9.23	22.8h	倒木
H10.9.25～10.7	285.2h	土砂災害
H11.9.21～9.22	35h	土砂災害
H14.7.15	7.2h	大雨
H16.2.6～2.8	57.9h	土砂災害
H16.10.20～10.21	10.7h	大雨
H17.12.6	1.7h	大雪
H22.7.12	3.5h	大雨
H23.9.20	11.5h	大雨
H25.12.11	45.0h	落石対策
H30.4.25	10.5h	大雨
H30.7.8	52.0h	土砂災害
合計	543.0h	H10～R1の22年間

#### ● 濃飛流紋岩



- ・濃飛流紋岩は、一般に硬質で塊状に現れることが多い。
- ・このため、比較的大径の落石や転石群が生産されやすい。
- ・濃飛流紋岩は、岐阜県中央部を北西～南東方向に横断して分布している。

#### 防災点検箇所① 管理レベルⅢ：岩石崩壊



#### 写真① H30.7 土砂災害発生状況



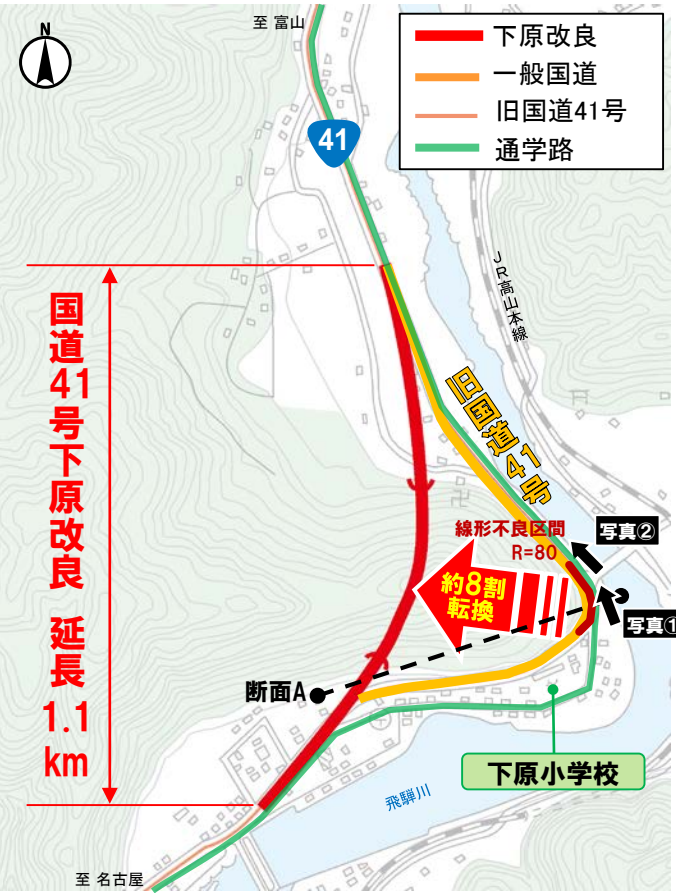
# 2. 評価の視点

## (1) 事業効果の発現状況

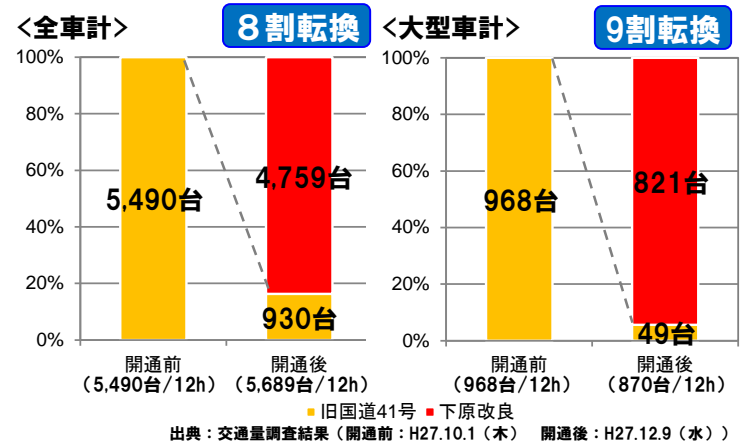
### ②交通安全の確保

■旧国道41号は、線形不良により、小学校の通学路としての安全性が問われていました。  
 ■下原改良開通後、旧国道41号を走行していた交通の約8割が転換し、小学生が安心して通学路を登下校できるようになったと実感しています。

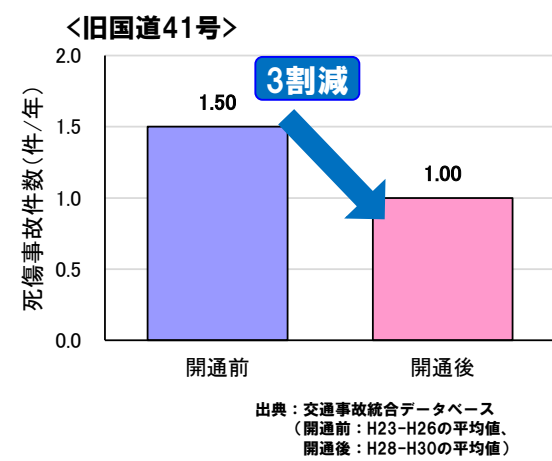
### ○通学路の安全性確保



### ●開通後の交通量の変化（断面A）



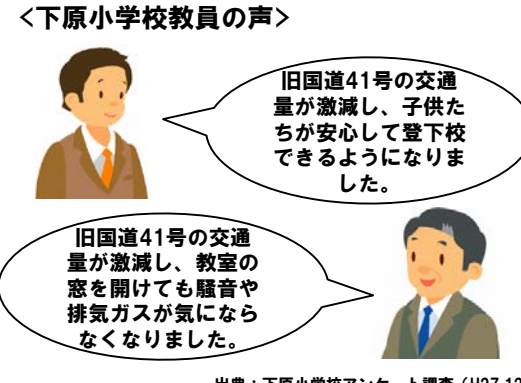
### ●開通後の死傷事故件数の変化



### ●開通前の状況（旧国道41号）



### ●開通後の安全性



# 2. 評価の視点

## (1) 事業効果の発現状況

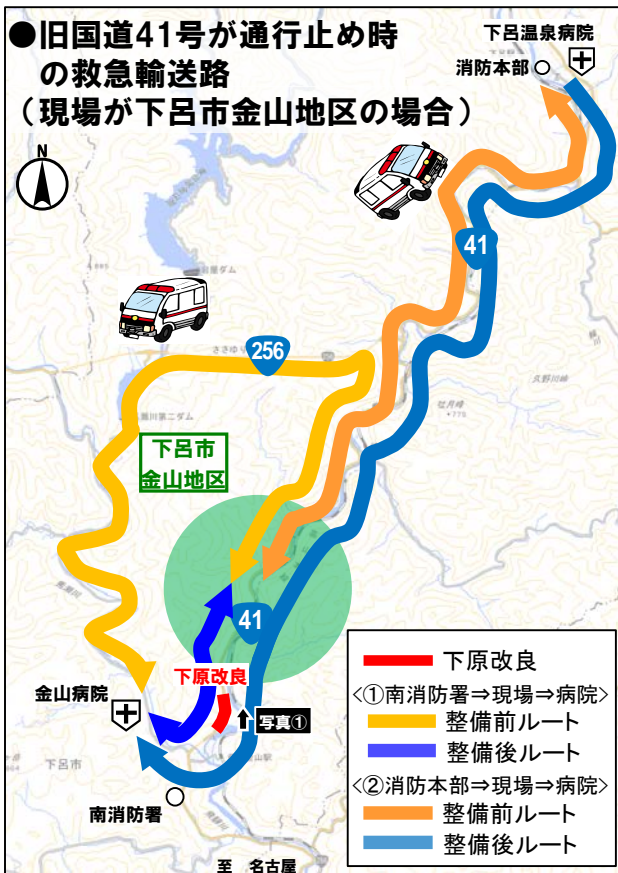
### ③救急搬送への支援

■下呂市内には、急病や交通事故等の緊急患者を受け入れる第二次医療施設が2箇所あり、下原改良を含む国道41号は、その拠点輸送路として重要な位置づけになっております。そのため、旧国道41号は、災害や、道路の線形不良による交通事故(正面衝突・路外逸脱・スリップ等)により通行止めとなった場合の代替路の確保が大きな課題でした(線形不良区間あり(R=80)、1kmあたり防災点検箇所が県平均の4倍以上)。

■下原改良の開通により、旧国道41号が通行止めとなった場合でも、安定した救急輸送路の確保が実現し、患者への負担が軽減しています。

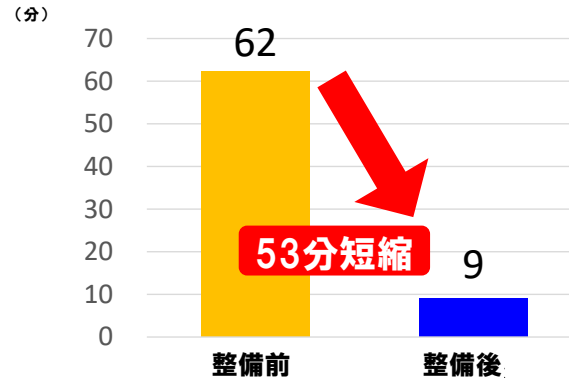
### ○安定した救急搬送路の確保

#### ●旧国道41号が通行止め時の救急輸送路 (現場が下呂市金山地区の場合)



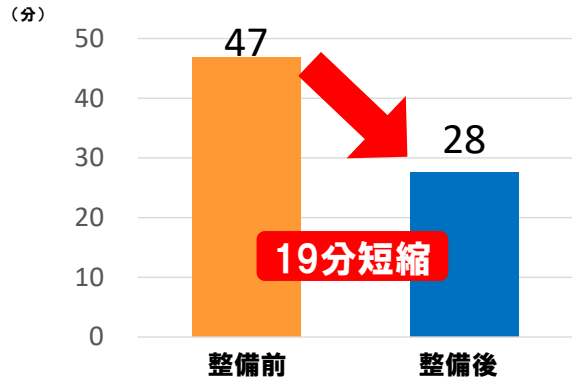
### ●旧国道41号通行止め時の救急搬送時間 (現場が下呂市金山地区の場合)

＜①南消防署→現場→病院＞



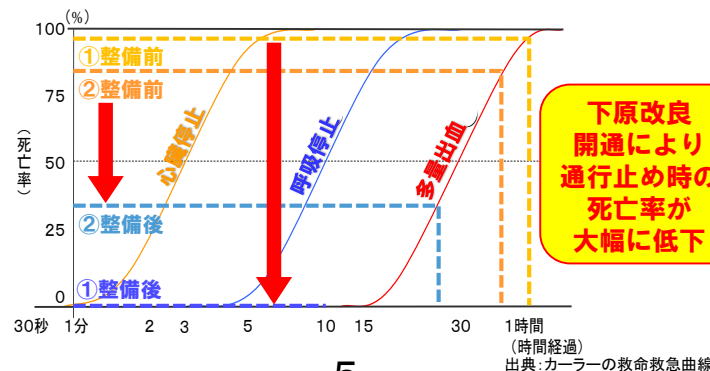
整備前：下呂市消防署本部南消防署→金山地区→下呂市立金山病院(国道41号・256号経由)  
 整備後：下呂市消防署本部南消防署→金山地区→下呂市立金山病院(国道41号経由)  
 出典：平成27年度全国道路・街路交通情勢調査

＜②消防本部→現場→病院＞



整備前：下呂市消防署本部→金山地区→岐阜県立下呂温泉病院(国道41号経由)  
 整備後：下呂市消防署本部→金山地区→下呂市立金山病院(国道41号経由)  
 出典：平成27年度全国道路・街路交通情勢調査

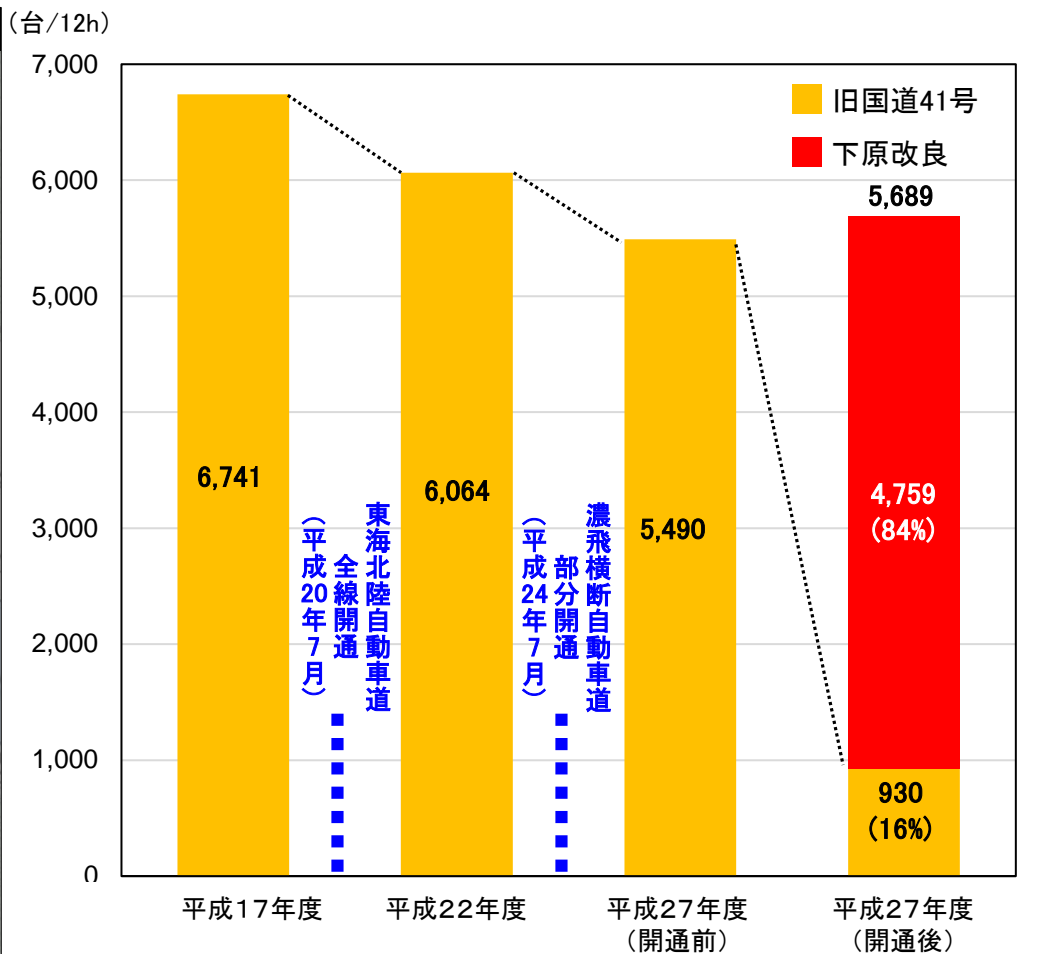
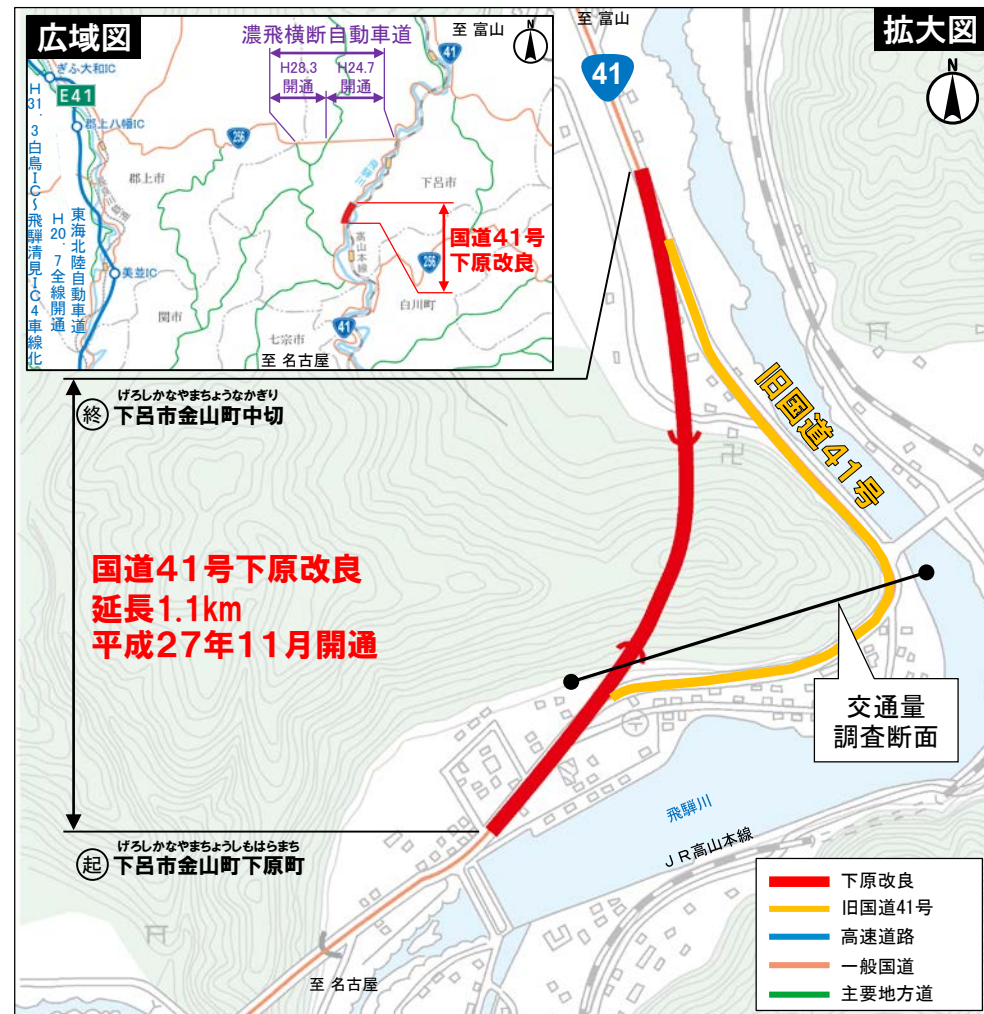
### ●緊急時における時間経過と死亡率の関係



# 3. 社会経済情勢の変化

## ① 幹線ネットワークの拡充

- 国道41号下原改良が開通し、幹線ネットワークの拡充が図られています。
- 国道41号下原改良の開通により、旧国道41号を走行していた車両の約8割が国道41号下原改良へ転換、さらに交通量も増加しました。



出典: H17、H22全国道路・街路交通情勢調査  
H27交通量調査結果 (開通前)H27.10.1(木) (開通後)H27.12.9(水)



## 4. 対応方針(案)

### (1) 今後の事業評価の必要性

- 一般国道41号下原改良は事業が完了しており、整備目的どおりの効果が発現していることから、今後の事後評価の必要はないと考えます。

### (2) 改善措置の必要性

- 一般国道41号下原改良は、整備目的を達成していると判断できるため、改善措置の必要はないと考えます。

### (3) 同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性

- 現時点では、同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直し等の必要性はないと考えます。